

## 「非AUG開始コドンの翻訳制御」

浅野 桂博士  
(カンザス州立大学生物学科教授)

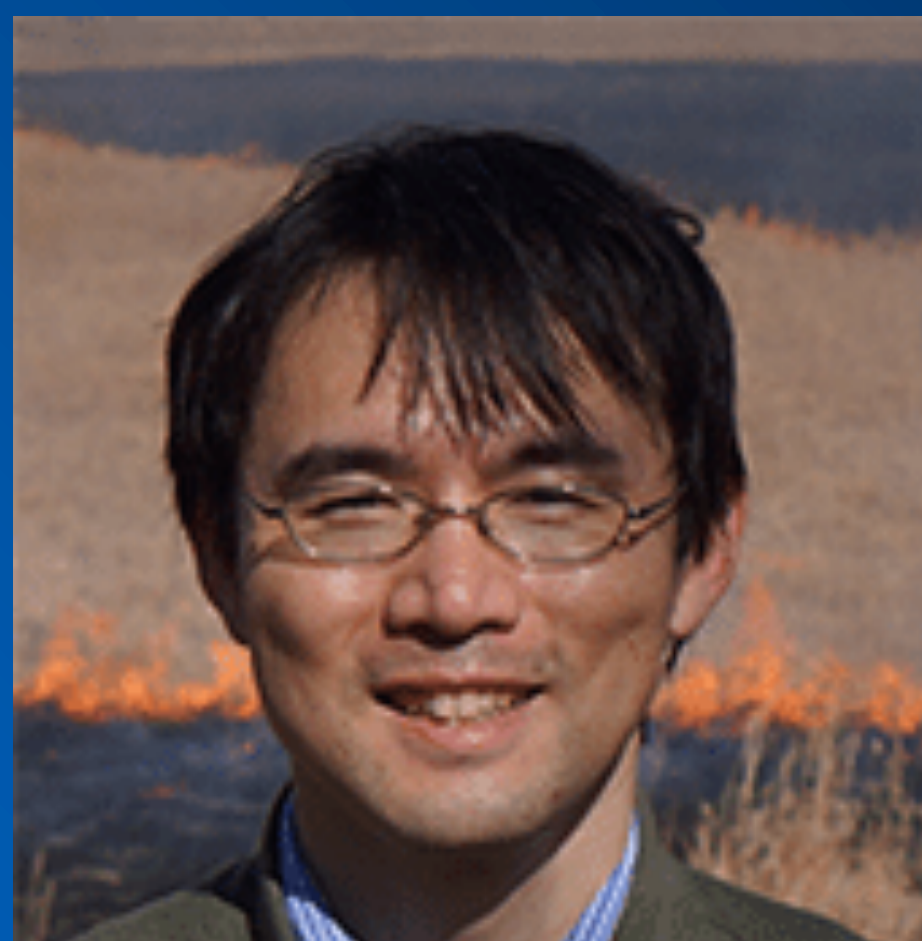
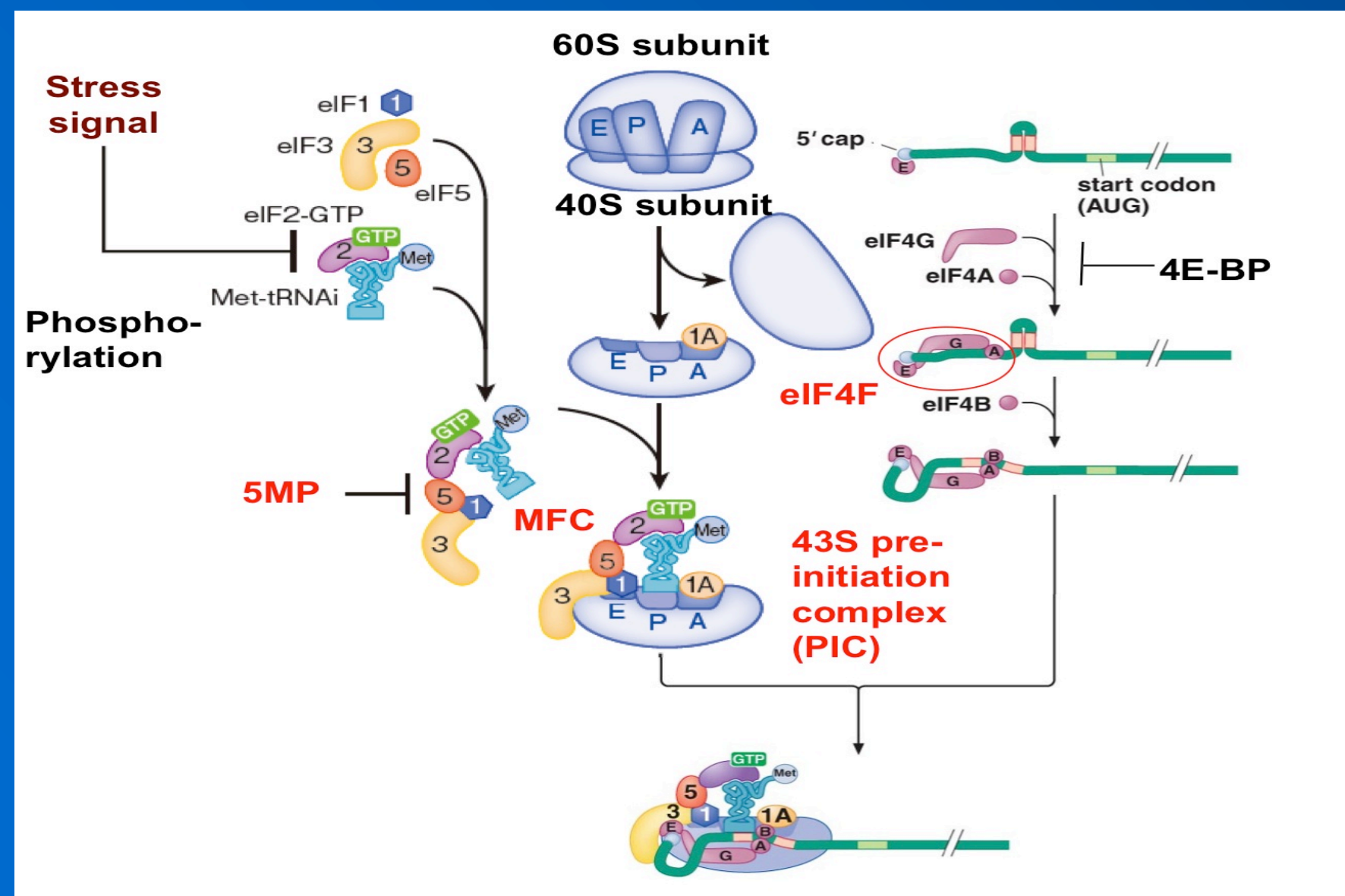
(世話人: 登田 隆 特任教授  
大学院先端物質科学研究科  
分子生命機能科学専攻)

### 《概要》

リボソームによる翻訳の開始コドンはAUGだが、GUGやCUGなど非AUG開始コドンからの翻訳開始が最近注目されている。これらの非AUG開始コドンが幅広い生物種においてみられるのはどうしてだろうか？

原核生物では、例えばGUGコドンを使うことで翻訳開始をRNA構造変化によって効率よく調節することが可能になる。真核生物では非AUGコドンからの開始は通常は高くないが、翻訳開始因子のバランスが崩れると高まる。これを防ぐために真核生物には5MPと呼ばれる調節因子が存在する。5MPは癌化を促す因子として幾つかの種類の癌で発現が亢進している事が示されている。非AUG開始コドンは癌抑制遺伝子や癌原性遺伝子の翻訳開始にも使われている。

本講演では、リボソームプロファイリングの結果などから非AUG開始コドンが癌化とその抑制にどう関連するのか考察したい。



※本セミナーは5研究科共同セミナーです

開催日時: 平成 29 年 12月 22日(金) 16:00-17:00

会場: 広島大学先端科学総合研究棟 3F 302S会議室

お問い合わせ先

登田 隆: E-mail: takashi-toda@hiroshima-u.ac.jp TEL 082-424-7868